

ビストロ下水道・リーダー座談会 ～リーダー都市の熱いスーパー公務員の秘密を探る～

開催趣旨：持続的な地域社会のために、水・食・エネルギーの一体的な資源循環システムを構築することは重要な課題であります。これまで、21世紀水倶楽部では、地域バイオマスステーション化などエネルギー活用などをテーマに研究集会を行いました。一方、食糧自給率が低く、化学肥料生産を輸入に頼っている日本においては下水道資源と食料生産の関係を構築することも重要なテーマではありますが、下水の持つイメージなどから難しい政策課題の一つとなってきました。そんな中、近年では国土交通省や日本下水道協会、さらにはGKPによるビストロ下水道のプロジェクトとして、自治体、市民、NPO、地域の大学などが一体となって困難を克服し、下水道資源の農業利用に大きな成果を上げている地域があります。本研究集会では、先進的な三つの自治体である佐賀市、岩見沢市、鶴岡市(農業利用をテーマに国土交通大臣省・循環のみち下水道賞を受賞した三都市)でプロジェクトをリードされてきた3名の自治体職員の方をお迎えし、自治体職員としてどのように地域と一体となり困難を克服してきたか、成功のポイント、困難に立ち向かった時の思いなどを熱く語っていただきます。さらに、国土交通省職員としてビストロ下水道をスタートアップした加藤氏(東京大学特任准教授)を交え、ビストロ下水道の魅力、さらには地域でイノベーションをいかに興し普及させるか、という議論にまで展開します。

1) 開催日：令和2年 11月17日(火) 13時30分～16時30分

2) 開催方法：Zoomでのオンライン開催

3) 講演プログラム

1 イントロダクション 13:40～14:00

「ビストロ下水道の魅力～バトンをつなぐ難しさと楽しさ」

東京大学下水道システムイノベーション研究室特任准教授 加藤裕之様

2 ビストロ下水道経験紹介 14:00～15:00

「経験紹介1 岩見沢市におけるビストロ下水道～北の大地で熱い農家と描く夢と戦略～」

岩見沢市農業基盤整備課長 斎藤貴視様

「経験紹介2 鶴岡市におけるビストロ下水道～地元大学・留学生とイノベーションを興す～」

鶴岡市下水道課長 有地裕之様

「経験紹介3 佐賀市におけるビストロ下水道～「人」のつながりが世界モデルをつくる～」

佐賀市上下水道局環境政策調整監 前田純二様

3 休憩 休憩中に質問をチャットで受付 15:00～15:20

4 総合討論 15:20～16:20

議論案・質疑応答・バトンの渡し方の3都市の同質性と異質性 ・ビストロ下水道の職員や地域への効果・ビストロ下水道を越えて、下水道イノベーションのポイントや夢

4) 参加費用 無料

5) 参加申し込み 定員は下記のとおりです。定員に達したら締め切ります

会場参加 定員 10名 (文京区小石川 5-5-5 桐山ビル 6F)

オンライン参加 50名

会場参加は、講師などで定員を満たしています。参加募集はオンライン参加のみです。ご注意ください。参加者には、後日、招待メールを送付しますので、必ず、メールアドレスを記入下さい。

令和2年度 NPO21世紀水倶楽部資源活用型下水道システム部会オンライン研究集会

お申込みは令和2年10月30日（金）までに、研究集会[参加登録フォーム](#)からお願いします。

- 6) お問い合わせ E-mail : sympo-info@21water.jp
- 7) **継続学習(CPD)**:公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会 CPD 認定プログラム申請中